

# 日本ビジネスコミュニケーション学会 ニュースレター

第9号

2010年12月15日

ホームページ <http://www.abcj.org/>

## 本学会 第1回関東支部大会が開催されました。

### 第1回関東支部大会の報告

11月27日（土）拓殖大学文京（茗荷谷）キャンパスにおいて、第1回関東支部大会が開催されました。記念すべき第1回大会ということもあり、一般60名、学生23名の参加があり、午前の学生発表から昼間の4つのプログラム、そして夜の懇親会まで熱心にご参加頂き大変充実した大会となりました。ご協力ありがとうございました。

開会式：13:00～13:15 司会 須貝沙織

絹巻会長挨拶

中林理事長挨拶



学生発表会 表彰式 最優秀賞を受賞したグループ代表の宇佐見さん



講演 13:15～14:15 「CSRの原点を探る — 杉原ビザとユダヤ難民の人的輸送 —」

司会：太郎良留美

北出 明 元・国際観光振興機構参与

第二次世界大戦下、ナチス・ドイツの迫害を逃れようと必死のヨーロッパ脱出を試みていたユダヤ人に対し、本国（外務省）の訓令に背いて日本通過ビザを発給し、6000人もの命を救ったと言われる杉原千畝・在リトアニア副領事の話は余りにも有名です。しかし、それらのユダヤ人難民がどのようにして日本にたどり着き、その後アメリカなどへ渡って行ったかを知る人は多くありません。彼らの逃避行を助けたのが、現在のJTBの前身である「ジャパン・ツーリスト・ビューロー」で、その実際の輸送業無を担当したのが北出明氏の元上司の大迫辰雄氏でありました。講演会には特別ゲストとして杉原家、大迫家からご遺族が参加され、またイスラエル大使館からも広報官が参加されるなど、歴史の関係者が一同に集う素晴らしい講演となりました。尚、帰国後、外務省を辞

した杉原領事は不遇のままお亡くなりになりましたが、その後、杉原領事の国際的評価が高まり、外務省と杉原家の間を取り持ったのが会場校のOBで衆議院議員鈴木宗男氏であったことも不思議な縁を感じました。



報告 14:15～15:00 「ISO14001 環境マネジメントシステム — 実践と認証取得 —」

司会：堀内瀧文

英国 IEMA 登録環境主任審査員

関口勝宏 ケイエス マネジメント ジャパン代表  
元群馬大工学部非常勤講師



近年、組織（企業、各種団体）を取り巻く環境リスクはますます多様化し環境リスクの低減及び環境への貢献活動の重要度が増しております。ISO 国際標準化機構が発行した環境マネジメントシステム SO14001 の規格は、環境対策を継続的改善するため、環境方針・計画・実施及び運用・点検・マネジメントレビューの各項で構成されています。具体的には、事業活動が環境に与える影響を洗い出し、著しい環境影響を特定し、関連法規制への適合を確実にします。また、著しい環境影響を改善するための目的・目標と、これを達成するためのプログラムを策定し、継続的改善のため定期的に評価を行います。第三者の審査登録機関が評価し、ISO14001 の要求事項に適合した時、はじめて登録され認証を取得します。英国 IEMA 登録環境主任審査員の関口氏による ISO14001 環境マネジメントシステムの実践と具体的な認証取得までのプロセスを図解しながら分かりやすく

お話頂きました。

特別講演 15:10～16:10

司会：鄭 偉 「経営戦略とビジネスインテリジェンス— 戦略的情報活用力の学びと実践 —」

中川十郎 日本大学大学院グローバルビジネス研究科講師日本ビジネスインテリジェンス協会会長東京経済大学経営学部・大学院前教授



ビジネスインテリジェンス (BI) は高度経済・経営情報の戦略的活用で、その収集、選別、評価、分析、伝達、情報監査について発表されました。

BI は、①既存のビジネスの拡大、深耕②新規ビジネス・事業の創出③リスク(危険)④クライシス(危機)管理⑤重要情報の機密保持などに必須のツールで、中川氏の20年におよぶ研究に基づき、ケーススタディも交えながら実践的かつ戦略的経済・経営情報活用の実例を報告されました。

ビジネスインテリジェンスの研究、運用、活用が欧米諸国と比べて非常に遅れている日本にとって、これから BI は極めて重要な国家戦略の一つであると思われます。

シンポジウム 16:20~17:50 司会：井手芳美

「今求められる社会人基礎力 — 企業研修・大学教育で何を育成すべきか —」

16:20~16:50 発題者：別府信太郎 (株) トラストコーペレーション代表取締役  
16:50~17:50 パネリスト

木村真教 野村証券高崎支店長 (前人材開発部)

江田賢二 株式会社日本コンピュータ開発取締役管理本部長

田中謙二 NPO法人キャリア・アドミッションオフィス理事長

長尾素子 拓殖大学商学部教授

経済産業省が2006年から提唱している『社会人基礎力』は、今年6月に同省が行った調査によると、今後『社会人基礎力』の指標や概念を「採用」や「社員育成」に活用していきたいと考える企業が7割にも上がっています。そこで先ず企業が人材に何を求め、教育現場では実際どのような取り組みが行われているかなど、具体的な事例を交えパネリストの方にご報告いただきました。次に企業と人材の意識の差が雇用のミスマッチに発展する中、今後企業と教育現場が『社会人基礎力』の評価と育成をどのように推し進めていけばよいかを会場を交えて活発に討論致しました。

パネリストから企業が求める具体的な人材像についても言及があり、就職活動中の学生にとっても貴重なセミナーとなりました。



懇親会 18:10～20:00 C館7階 ラウンジ 司会 須貝沙織

懇親会は午後の発表の熱気をそのまま受け継いで明るく楽しい雰囲気の中で行われました。45名が参加し、川島副会長の乾杯後、談笑し名詞交換などしているうちに時間がたってしまいました。終わりに講演者やパネリストの挨拶があり、3本締めの後、関西支部を真似て会場に残った参加者達と記念写真を撮りました。飲食物は食堂に特注し、懇親会は学生諸君の全面的協力を得て準備から片付けまで円滑にできました。お陰で参加しやすい会費で開催ができました。関係者に御礼申し上げます。

会場の7階ラウンジは明るくスッキリとしていて、夜は茗荷谷からの夜景が綺麗で学生に人気のスポットです。学会でも初めて使用しましたがパーティ会場としても人気が高い場所です。





## 学生論文発表会

日本ビジネスコミュニケーション学会関東支部大会が2010年11月27日（土）に拓殖大学文京校舎C404教室で開催されましたが、午前の部では学生論文発表会が行われました。

拓殖大学でコミュニケーションを学んでいる21の学生グループから発表エントリーがあり、予選を通過した6グループがこの日、研究成果を競いました。日本ビジネスコミュニケーション学会の会員5名の先生方が厳正に審査し、以下のグループが入賞しました。

### 【最優秀賞】

「モンスターペアレント」の誕生—地域・家庭・メディアコミュニケーション—  
(3年鄭ゼミ) 宇佐美友理・磯辺友美・渡辺佳菜子

### 【優秀賞】

はたして「歴女」は歴史が好きなのか!?—社会的アイデンティティを求める女性の欲望—  
(4年鄭ゼミ) 美波知治・武藤賢二郎・山本和也

### 【審査員特別賞】

会議におけるファシリテーション技術の重要性  
(3年長尾ゼミ) 内藤真之介・関聡一郎・吉田光重・鈴木達也・清水雅也

各チームの発表と審査風景



来年2月は専門部会企画で講演会を開催します。

予定テーマ：チャイナリスクー 中国とのビジネスの危険性と可能性ー

学会では「年次大会」、「支部大会」について、会員の専門分野や関心分野ごとの「専門部会」による研究会を研究の3本柱においており、設立総会のアンケートで会員の皆様の研究分野のご希望を伺いましたが、部会づくりは分野と人数のバランスの問題もあり、どのように運営するか課題となっておりました。

そこで、まずは皆様の関心の深い「グローバルビジネス」の研究部会をパイロット的に立ち上げることにしました。いきなり研究発表も難しいので、まずは専門家をお招きし、勉強する方法でスタートすることに致します。講演テーマは今、一番ホットな話題である中国とのビジネスリスクです。レアメタルや尖閣列島問題など近年中国とのビジネスには政治とリンクした危険性が顕在化し、リスクが伴うようになってきました。

中国には日本の企業が3万社以上も進出しているとの統計もあり、従来のアメリカを抜いて最大の貿易相手国となっています。リスクを回避するため既にベトナム、カンボジア、タイ、インドなど他のアジア圏へシフトしている企業も増えています。驚異的な経済成長を背景に理不尽に振る舞う中国とこのままビジネスを続けていいのか、それともリスクを回避するため他国へ工場を移転し販路を見つけるのか、判断が難しいところです。講師は交渉中です。詳しい日程や内容は1月にお知らせします。

## ホームページ <http://www.abcj.org/> 開設のご案内

大変遅れておりました学会のホームページ <http://www.abcj.org/> が下記のように開設されましたのでご案内申し上げます。

内容は HOME, お知らせ、学会案内、活動報告、お問い合わせの5項目となっています。HOMEは全体の目次です。お知らせは、最新の活動情報を掲載していますのでこちらでご確認下さい。学会案内は、学会の組織、役員、会則、入会案内等、学会の基本情報が掲載されています。活動報告は、年次大会、支部大会、研究会、セミナー、講演会、シンポジウム、学生部会、発行などの活動についてのご案内です。お問い合わせは、事務局が学会に関する問い合わせや質問先となっています。

項目によっては準備中の箇所もありますのでご理解の程お願い申し上げます。内容についてお気づきの点がありましたら広報局北出、青柳までお願い申し上げます。

## 会費納入のお願い 会費納入のお願い

会員の皆様へ

ABCJは昨年2009年3月に設立され、9月に第1回年次大会を行い、今年9月に第2回年次大会を関西で開催いたしました。支部大会は関西で既に3回開催し、関東では先月第1回大会を開催致しました。専門部会による研究活動も年明けに開始することになりました。ホームページは遅くなりましたがこの度開設することができました。学会の研究報であるジャーナルは来年4月に合併号を予定しております。



皆様のご支援、ご協力により少しずつですが、ゆっくりと着実に活動を進めております。学会は立ち上がったばかりでまだ十分に会員の皆様のご期待に応えられておりませんが、少しずつ改善していきますのでご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

初年度の会費はこれまで設立総会や年次大会の会場で納入していただきましたが、本年度も年次大会の会場や関東支部大会の会場で納入して頂きました。御礼申し上げます。大変恐縮ですが、2010年会費（7000円）未納の方は下記事務局口座にお振り込みお願い申し上げます。

三井住友銀行金剛支店（店番号194）口座番号3889419（普通預金）  
口座名：日本ビジネスコミュニケーション学会 理事長 中林眞佐男

問い合わせ先は事務局 西口博之 [nishiguchi@heian.ac.jp](mailto:nishiguchi@heian.ac.jp) までお願い申し上げます。

以上

#### 編集後記

広報局ではこのニュースレターとこの度開設したホームページを広報の両輪として運用していきます。今回のニュースレターは第9号になります。発行頻度に決まりはありませんが、学会の大会やセミナーなどの催事の案内、報告等の際に発行してきました。学会の活動を分かりやすく報告するため、写真の掲載を多く行っています。

この度ホームページができあがりしましたので、最新の活動情報は随時「ABCJ からのお知らせ」欄に掲載致しますのでご確認下さい。（広報局 北出）